

ぱる通信

7

No. 167

特集

『障がい者雇用』を進める為の雇用主の役割とは……

「社会福祉法人 岡山中央福祉会」の取り組みから学ぶ



特集：『障がい者雇用』を進める為の雇用主の役割とは・・・ ～「社会福祉法人 岡山中央福祉会」の取り組みから学ぶ～



「障がい者雇用」は当たり前のこと



山中央福祉会の法人職員数は、四三〇名。内常用雇用者

数は、三三六名。現在七名の障がい者を雇っている（六月二十一日現在）。継続年数は、長い方で九年。他の方は、一年～三年目である。その他、施設外就労先としても外部事業所から受け入れを行っている。

『障がい者雇用』は特別なことではない。当たり前のこと。』

と藤岡氏は語る。「岡山中央福祉会」で、二〇〇一年に施行された『二十一世紀理念』にも、そのことが明記されている。

社会福祉法人「岡山中央福祉会」は、一九八〇年から高齢者を対象とした事業を展開。現在は、特別養護老人ホーム・デイサービスセンター・ケアハウス・ヘルパーステーション・老人保健施設・グループホーム・小規模特別養護老人ホーム・養護老人ホームなど十六事業所を運営している。二〇〇八年の「障がい者合同面接会」での出会いがきっかけとなり、「就労移行支援事業所あすなろ」から三名の方を雇用して頂き、現在も就労継続を支えて下さっている。今回は、老人保健施設「さくら苑リハビリセンター」及びさくら苑デイサービスセンター「つくしんぼ」施設長 井上伸二氏・養護老人ホーム「岡山会陽の里」施設長 藤岡理恵氏・老人保健施設「さくら苑リハビリセンター」事務主任 松浦直哉氏から、「障がい者雇用」に積極的に取り組んでいるのはなぜなのか、話を伺った。

《岡山中央福祉会の 21 世紀理念》

わたしたちは、**高齢者・障害者**が健全で安らかな生活を保障され、かつ社会への平等で完全な参加の実現を目指します。

- 一. **高齢者、障害者**の人権を尊重し、豊かな心で自立を支援し、明るくうるおいのある保健福祉活動に励みます
- 一. **高齢者、障害者**の福祉と医療の充実と介護の向上のために学び、考え、実践できる人づくりをすすめます
- 一. 経営と職員の生活と権利を守り、民主的な管理運営をすすめ、地域にひらかれた非営利協同の組織として活動します
- 一. 地域の人びとと力をあわせ、**高齢者、障害者**が安心してくらせる『福祉と健康のまちづくり』をおこないます
- 一. 生存権と国の社会的使命を規定した憲法第 25 条を生かした福祉と医療制度、平和で豊かな社会づくりをすすめます

—いつから「障がい者雇用」を始めたのですか？

「十一世紀理念」を謳う以前のデイサービス開設当初から身体障がいのある方を雇い、現在は居宅介護支援事業所の管理者として中心的な存在として働いてくれています。現在は介護保険制度になりましたが、措置制度の時代から、高齢者と障がい者は切り離されていません。利用者の中に、障がいがある方は当然おられましたし、精神科の先生が往診に来てくれていました。高齢者だから、障がい者だからという線引きは元々なく、法人の気質として流れているものです。

また、専門職が増え、看護師や相談員以外にも、介護福祉士・ヘルパー等学校で倫理教育を受けて就職される方が増えているということも、障がい者雇用を自然に受け入れやすい環境を作っています。

障がい者のある方から教えられる

—障がい者の職場実習を

積極的に受けられていますか？

社

会福祉士・介護福祉士・栄養士・特別支援学校など様々な実習を積極的に受け入れています。一事業体として、就労の場・社会の場を経験してもらうことが、私達の社会的役割であると考えています。

実習を受ける前に、まずはプロフィールを頂

き、配慮すべきことを知っておきます。一番気にしているのは病名でも服薬についてでもなく、一人一人の得手・不得手や辛い時のサインは何なのかを必ずチェックしています。また、現場の担当者をきちんと決め、何かあったらすぐに相談するよう本人に声かけを行っています。

障がい者の職場実習を受け入れる中で、「すぐく教えられる」と職員がよく言います。本当に一生懸命で、指示したことをきちんとやっというところの姿を見て、大学や専門学校から実習を受け入れる時には見えなかった様々な事に気付かれます。受け入れ側も、得られるものがたくさんあります。

「障がい者雇用」の実際

—「障がい者雇用」を行うにあたって、

工夫していることを教えてください。

障

がい者だから指導が大変なのではなく、新人職員の教育をしつかり行うという

事と一緒に考えています。特別なことではあり

ません。「障がい者雇用」で工夫しているこ

とは、採用後の所属をはっきりすることです。

中途半端な状況だと、責任の所在が分からなくなるので、我々の場合、事務部が管理責任を負うという形で取り組んでいます。現場の職員は、業務が忙しく、本人の事を気かけづら

ったり、本人にとっても、同じ部署の職員に不安や悩みを言いくいこともあると思います。そこで、他職種が対応することによって、客観的に話を聞き、アドバイスができます。もちろん現場の責任者も関わりを持ち、悩みを聞いていくので、二方向からのフォローができます。そして、長く続けて行く為に、自分で何をコントロールすればよいのか一緒に考えています。信頼していた職員が異動になることで、不安を抱えて調子を崩すということも少なくありませんが、職員みんなで声をかけ、相談しやすい環境作りを心がけています。



老人保健施設「さくら苑リハビリセンター」

さくら苑デイサービスセンター「つくしんぼ」

施設長 井上伸二氏

コ ミュニケーションが苦手でも、真摯に関わる姿に施設の利用者は信頼を寄せます。更に、きちんと約束を守ること、声のかけ方、一生懸命さなど、真面目に取り組む姿勢は、利用者だけでなく一緒に働く職員の評価にもつながります。

精神障がいの場合、どうしても波があり、仕事を休んでしまうという状況に陥りやすいのですが、休むことがあったとしても、来た時の頑張りや人柄によって、来てくれると助かる、一緒に働いていきたいという気持ちを生みまします。まずは、仕事に来てもらいやすい環境を作り、就業が安定していく事が大事だと思っています。



老人保健施設「さくら苑リハビリセンター」
事務主任 松浦直哉氏

採用のポイント&支援者に求めるもの

得

手不得手はあると思いますが、清掃の仕事でもその場に利用者もいるので、他者に対して興味を持てるという所は、少なからず必要なことだと思います。利用者にとって障がいの有無は関係のないことなので、人としてのお付き合いができるということが大切な要素になります。

支

支援機関については、よく足を運んでくれ、相談し易い体制ができていたので、やり易かったです。本人が直接職場に言えない悩みを聞いてくれ、その話を基に、勤務時間や勤務日数を調整しました。しばらくの間は三者の関係があった方が良くと思います。仕事から帰った後の生活の部分を支える支援者と連携し、生活全般を共有しておくことは大事です。必ず足を運んで下さいよということではなく、いつでも相談できる関係、雇用継続の為の協力者という位置関係がとても助かりました。

「障がい者雇用」を考えている企業に向けて

藤岡氏―特別なことではありません。誰でも個性を持っています。病気や障がいがあるかどうかではなく、その人の特性を知り、指導することです。就労の場を提供する企業の社会的役割



職場での森さん①

だと思います。確かに誰でもというわけにはいきません。しかし、企業も努力が必要です。そして、本人・支援者も努力して欲しいなと思います。「あすなろ」さんと合同面接会で出会わなければ、何も始まりませんでした。合同面接会でたくさん希望者が来られ、整理できない状況だった中、「実習からでもさせてもらえませんか」と言ってくれたのは「あすなろ」のスタッフさんでした。その言葉から一歩踏み出すことができたのです。「あすなろ」から就労した三人は、実習中の頑張りが採用の決め手でした。



職場での森さん②

松浦氏―まずは、受け入れる企業がしっかりと体制作りをしていかなければ何も変わりません。一歩目は企業からの歩み寄りです。スタートはそこからののです。

井上氏―一歩を踏み出さないと何事も始まりません。そこから上手くいくこと、いかなること、あると思いますが、一つ一つ評価しながら次に進めて行くということしかないと思います。そこで色々と学んでお互いに成長していくということが大切です。企業自身も一歩前へ出て行き、成長していかなければなりませんし、障がい者・支援者も前へ出てもらえたらと思います。

今回の取材のきっかけは、森さんからの『今すぐやりがいを感じている』という言葉です。モモで働いている時には勝手に休んだり、帰ったりしていた森さんが、「岡山中央福祉会」での仕事には、体調が悪い日以外はサボることなく、朝も遅れることなく頑張っていること、それが二年続いているというのは本当にすごいことです。モモにいた時では考えられないような気持ちになったのは、理解してもらって働ける環境や受け入れてくれている人達があったからだと思います。

とても頑張り屋で、その気持ちが人一倍強い森さん。生活の乱れも自分で改善できるような努力し、スタッフへの気遣いもしてくるようになりました。「仕事」を通して、人として大きく成長させてもらっているということを実感しています。

(ばるスペースMOMO 阿部)



MOMOでの森さん

「どんなに辛くてもあきらめない。いつも全力投球。」

森 美紀

介助員の仕事を始めて二年が過ぎました。「職場見学」から始まり、「実習」をさせてもらい、今現在に至り、ぼちぼち慣れたように思います。この仕事で大切なことは、利用者さんの立場になって話を聞く。一人になった時、利用者さんの様子をよく見ることです。介護の資格を持っていないので、介助員という形で採用してもらったので、私ができることは限られています。でも、自分ができる精一杯のことを頑張っています。この仕事をしていて、「頑張ってるね。いつもありがとう。笑顔がステキ」と言われた時は、とてもうれしいです。利用者さんの笑顔を見ることが楽しみになってきます。

現在週四日のペースで働いています。時には、職場の人とぶつかったこともありましたが、でもそれは、私のことを思ってくれてるのだと気付きました。困った時は、ジョブコーチさん、モモのスタッフさんが職場に訪問してくれます。働くということは、人に尽くすこと、その対価としてお金を頂くことです。人に褒められたり、評価されたりする為には働くのではありません。自分の持っている最大限の力を使って、どこまでできるか、今、私はそれに挑戦しています。働くことを通じて、私は様々な喜怒哀楽を味わうでしょう。

「思い」「言葉」「行動」。

みなさんも夢をあきらめずに

一緒に頑張りましょう。



よつばのクローバー

だより

ピア悩み相談受付中！
086(271)5689
困っていること聴いてもらいたいこと
何でも気軽に電話下さいね！



活動報告

(5/21~6/20)

- 活動日 19日(金は半日)
- 電話相談 185件
- 家事・同行援助 4件
- 弁当配達 17回



■編集・発行 ピアサポータークローバー

☎086-271-5689

平成 23年7月 1 日

No.18

つどい報告

6月8日つどいを開催しました♪

テーマは

- ①「最近見た映画・テレビ・漫画・小説・絵などについて」
- ②「自分の症状とセルフコントロールについて」でした！

①【まずは最近見た映画・テレビ・漫画・小説・絵などについてのテーマから参加者7名で語り合いました】

*山陽新聞の連載小説五木寛之さんの「親らん」を楽しみにしていて、特に絵が気に入っている。挿し絵も好き。

*「お休みプンプン」という漫画にはまっている。「ソラニン」の作者と一緒に。話は深刻だけど登場人物が童話のキャラクターでなんだから面白い。

*ドラマ「グッドライフ」を見ている。子供が白血病で、治って退院をして学校に行くが、父親も病気になり今後の展開が気になる。あとは「リバウンド」。ああいう風にならないように気をつけたい。

②【続いて自分の症状とセルフコントロールについてのテーマについて】

*最近入院して、薬が変わったせいか、幻視がある。ラジオ、テレ

ビが自分に関連している気がする。好きなミュージシャンの曲を聴くと落ち着く。後は友達や家族に気になった事を聴いてもらうと、落ち着く。また、睡眠も大事で、きちんと寝るようにしている。

*対人関係が苦手だったが、あすなろに通い始めて友達もできて、自信もついた。積極的になることができた。仕事に就けたこともそのおかげだ。

*自分は幻聴がある。気を許せる人に話をするとうち着いてくる。友達やスタッフに電話をして、話を聴いてもらったり、アドバイスをもらっている。

【感想】

*自分の症状について話ができないと思っていたが、皆の話を聴いている内に話す事ができて良かった。自分もドラマを見てみたいと思った。

*最近前みたい人に人前で話すことが苦痛ではなくなった。皆の話を聞けて良かった。

*普段聞けない話を聞けて良かった。今日はあまり参加しない人も一緒に話ができて嬉しかった。また皆で語り合いたい。

女子会を開きました!!



6月7日(火)。女性メンバーで集まり、女性ならではの悩みや、聞きたい事を語り合いました。盛り上がったテーマは

「生理不順のことや、産婦人科への通院のこと」など体験談を語り合いました。やはり不順になっている方は多く、「半年くらい生理が無い時があった。」など、服薬やストレスで起こる身体への影響や対処法について共有しました。漢方療法や、良かった病院などを伝え合い、情報交換もできる場となりました。また「美容院は何処へどのくらいの頻度で行っているのか、費用は？」についても盛り上がりました。次回は7月6日(水)午後2時に「はる」集合です。興味のある方、気軽に「参加下さいね」。

★参加希望者は、はるスタッフまでお願いします。



■リカバリーに大切なこと

これまでの人生を振り返りながら、自分はリカバリーの過程でどんな道のりを歩んできたのかをグラフにしました。人から決められた人生ではなく、自分が決めて自分が望んだ人生を歩めているのかそのためには、何が必要なのかを考える機会となりました。

■「希望」は

リカバリーに不可欠なもの

「目標があること、明るい未来・些細なことでも願いが叶った時、子供の笑顔。新しいことにチャレンジし、乗り越えることができた時。受け入れられていると実感した時。ミミロトが当たった時。」など、日常の些細なことからも希望を感じることが出来る等、新たな発見をした方もおられ、お互い元気をもらえたようでした。

■自分の元氣のために

責任を持つてしていることは？

「自分で選択し、その結果を自分で受け止めること。自分のことは自分でやる。その代わり、リスクもついてくる。それをこなすこと。約束を守ること。自己決定。自分で決めて、人のせいにならない。」等が挙げられ、自分が元氣でいる為に、自分の人生を主体的に生きていく姿勢が大切だということを確認しました。

相談電話

受付時間
～ひとりぼっち
をなくそうよ～

火曜 10時～17時
水曜 10時～17時
木曜 10時～17時
金曜 10時～13時半
気軽にお電話下さい！

相談電話 (086)
271・5689

「元気ノートづくり」講座 開催中！



【スケジュール】

- ① 5/14 【リカバリーに大切なことⅠ】
リカバリーについて・希望・責任
- ② 5/28 【リカバリーに大切なことⅡ】
学ぶ・権利擁護・
- ③ 6/11 サポート・元気の道具箱・
- ④ 6/25 日常管理・引き金・
- ⑤ 7/9 注意サイン・調子が悪くなった時

投稿コーナー

仕事の鬼へ… (♪「夢の中へ」井上陽水)

♪ 休むことは許されず 口答えは止められて
這いつくばって 這いつくばって
何で仕事を続けているのか
仕事を辞めた時 理由を知るのもよくある話で
働きましよう 夢のために 頑張ろうとは 思いませんか
ウフフ～ 夢のために ウフフ～ 夢のために
ウフフ～ さ～あ～ (匿名希望)

遠くから
電車の走る
音がほら
あたしを呼んでいる
どこかへ行こう
あの頃の
あたしへ言いたい
ことがある
「良く頑張ったね、
泣いてもいいよ」
ペンネーム 葉月

読者の広場

古楽日和

こがくびより

「狼たちの午後」を観た。一九七五年のアメリカ映画だ。監督は「二人の怒れる男」のシド・ルメット。主演は「セント・オブ・ウーマン・夢の香り」のアル・パチノ。

ニューヨーク。夏の暑い昼下がりに。ソニーをリーダーとする三人組の銃を持った男たちがある銀行を襲った。彼らは支店長と守衛、それに七人の女子行員を人質に取る。

物語開始早々、銀行強盗を計画していた三人のうちの一人が、「こんなことできない。」といって強盗から離脱する。すでに別の一人が支店長に銃を突き付けており、強盗計画は始まっているというのだ。こういつた辺りからも、この計画が多難なものとなるであろうことが予想できる。そして些細なことから強盗が銀行周囲の人間にバレ、銀行は警察に取り囲まれてしまう。しかもソニーが呼んでくれと警察に頼んだ彼の妻は「男」。つまり彼はゲイなのだ。

物語が進むにつれ明らかとなっていく強盗犯の人間像。それに当時のアメリカ社会が抱えていた問題を絡めている。果たしてこの事件の結末はどうなるのか？

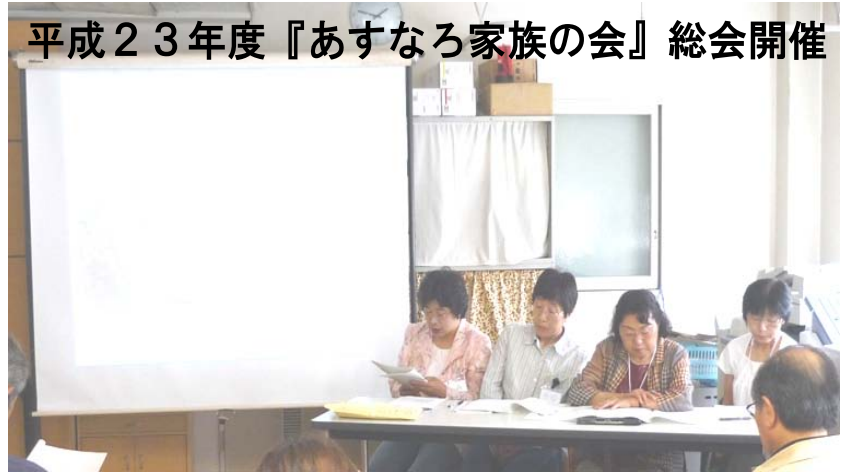
この作品を監督したのは社会派の巨匠シド・ルメット(残念ながら今年の四月に亡くなった)。これはアメリカの世相を描いた映画なのだ。(お詫びと訂正)

五月号で「サンデー・ブリッジ」とあるのは誤りでした。正しくは「サンデー・ブリッジ」です。

藤井建喜

ぱるの広場

平成23年度『あすなろ家族の会』総会開催



六

月十八日（土）、「リサイクル石けんセンター」にて、平成二十三年度『あすなろ家族の会』総会が開催されました。総勢十八名のご家族の参加があり、二十二年度の事業報告や二十三年度の新役員、事業計画について説明がありました。家族会活動報告の後、「あすなろ福祉会活動報告」をスタッフより行いました。今年度の総会も、家族同士の交流の時間を設け、なかなか家族会に顔を出せ

ないご家族との交流もでき、日頃抱えている悩みをお互いに聞き合える良い機会となりました。

小森清子会長より

当事者の娘の幸せだけしか考えられなかった私が、少しずつでも家族会に関わる方々の事を考えられるようになった事が良かったと思っています。家族会は、同じような悩みを持つ家族が集い、絆を深め、学び合い、お互いが元気になるべくしていきましよう。



交流会にて

【近況報告】

娘があすなろの利用を経てデイオで働く事ができ、今が一番幸せです。

以前はデイケアを利用していましたが、モモで何でも話せる同世代の友達ができ、アルバイトにも目が向くようになっていきます。楽しく過ごせています。等

【意見交換】

『統合失調症』と診断され、

子供の全てを受け止められず、自分が倒れそうです。

ここでは、泣き言が言えます。気持ちに楽になって帰れます。

私は、病気は自分のせいではないと思つたら気が楽になりました。

自分の子供も統合失調症です。あきらめてはダメですよ。

家の中がピリピリしています。「自分がしっかりしては」

と思っています。私が私がと思わなくていいんですよ。全ての責任をかぶることはないんです。

診察時に、家族と先生の二人で話す時間を作るといいですよ。



兄弟が結婚してから、自分はダメだと思っています。

私の子供は結婚をあきらめませんでした。目標を持つ事も大切です。

年金等、自分のお金が入ること

で自信につながる事もあります。薬を飲むことを、家族も本人も

受け入れられないのですが...

薬は調子を整えるものです。怖いものはありません。良くなれば減らす事ができますよ。

本人が自覚する為に、毎日の記録をつけています。今日は調子が良い。何時間で疲れた等、自

分の状態を客観的に見る事が出来るようになりましした。「一緒に書こう」などと促すと、お互いに確認でき、落ち着く事ができます。

― 病気は恥ではないです。



― 一人暮らしをさせるのに

不安があります。

― 一人暮らしをさせることで、最低限身の回りの事はするようになりましした。一人暮らしをさせて良かったと思います。

親が焦らない方が良く、最近思うようになりましした。

― 親元から場所が離れている事で、あまり気にならなくなりました。最初はとても不安でしたが、何かあっても仕方ないと腹をくくりました。

― 発達障がいの場合は、医療が必要な時、すぐに対応してもらいにくいです。支援ネットワークの力を借りて、ヘルパーを利用できるようになり、助かっています。

― 自分が必要とされる場所がある事、必要な助けを求められる事、必要な対処ができるようになる事などを合わせて自立だと思っています。

今現在、とても苦しんでいるご家族にとつて、大変な時期を乗り越えて、本人も家族も前向きに生活できているご家族の言葉は、安心でき、希望の持てるものです。家族同士お互いに支え合い、元気になる機会を今後も作っていききたいと思っています。

(小林)

Event

精神疾患を

『三大疾病』の一つに！

六 月二十六日(日)、『こころの健康署名六・二六岡山行動集会』

が「サンビーチOKAYAMA」で行われましした。NPO岡山けんかれん鶴川克己理事長より開会のあいさつがあり、岡山県精神科医療センター中島豊爾名誉院長より「集会」の目的と意義についてお話がありましした。当事者・家族・精神科医師・関係機関から提言の機会が設けられ、あすなる福祉会からも地域サービスの充実を呼びかけましした。最後に岡山県精神障がい者団体連絡会よりアピール文が読まれましした。



【アピール文内容】

いま、国民のこころの健康は危機的状況にあります。十三年連続で三万人以上の方が自らの命を絶っています。三百万人を超える人々が精神疾患の為医療機関を受診しています。ひきこもり・虐待・路上生活など社会問題の多くの背景に「こころの健康」の問題があります。世界保健機構(WHO)が提唱する「命と生活障害の総合指標」では、がんや心筋梗塞、脳卒中などの病気を抜いて精神疾患が一番になっています。私達は、①精神疾患を三大疾病のひとつとして位置づけ、国の重点施策にすること。②国民の全てを対象とした、こころの健康について総合的で長期的な政策を保障する「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を国に求めて行くことにましした。私達は、幅広い人々との共同の取組として運動をすすめて行きます。



7月活動予定

1	金	
2	土	14:00～お抹茶
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	14:00～パソコン教室
7	木	14:00～リカバリー勉強会
8	金	
9	土	10:30～ギターサークル 14:00～「自分の元気ノートを作ろう！」
10	日	
11	月	
12	火	13:30～ぱるっこたいむ
13	水	13:30～つどい 海キャンプオリエンテーション
14	木	西大寺サテライト電話相談日(担当:ぱる)
15	金	11:30～岡精連交流会(スローカフェたんぽぽ)
16	土	11:00～パソコン教室
17	日	
18	月	
19	火	13:30～クローバーしゃべり場
20	水	14:00～パソコン教室
21	木	海キャンプ 14:00～リカバリー勉強会
22	金	↓ 山キャンプオリエンテーション
23	土	10:30～ギターサークル
24	日	
25	月	
26	火	13:30～クローバーミーティング
27	水	
28	木	西大寺サテライト電話相談日(担当:ぱる)
29	金	
30	土	宇野学区盆踊り大会
31	日	

- ◆陶芸教室 (場所:石けんセンター)
- ◆ソフトボール (場所:百間川グラウンド)
- ◆パソコン教室 (場所:ぱる・おかやま)
- ◆お抹茶教室 (場所:ぱる・おかやま)
- ◆ギターサークル (場所:石けんセンター)

2日(土) お抹茶教室

お抹茶とお菓子を用意しています(^-^)
MOMOの風早先生指導の元、楽しくお抹茶を
頂けます。今回は、冷たいお抹茶です♪
涼やかな夏を感じに来てみませんか!!

時 間	14:00～15:00
場 所	ぱる・おかやま1階交流室
参加費	100円
問い合わせ	086-271-5689 (クローバー)

13日(水) つどい

13日のテーマは、「**どういうきっかけで、事業所に通い始めたか**」「**友達を作るには?友達との思いでの作り方**」です。

「言いつ放し・聞きつ放し」が原則。大いに語り、楽しい一時を過ごしませんか?

時 間	13:30～15:00
場 所	ぱる・おかやま1階交流室
参加費	無料
問い合わせ	086-271-5689 (クローバー)

30日(金) 宇野学区盆踊り大会

3世代交流を目指し、子供も大人も高齢者も皆が参加できるお祭りです!

時 間	17:00～20:30
場 所	宇野小学校グラウンド (岡山市中区原尾島1丁目9番1号)
内 容	お楽しみ夜店(焼きそば・ジュース・おでん・アイス・ストラックアウト) スイカ割り・ゲームなど

毎週火曜日	13:00
毎週火曜日	15:30
16日(土曜日)	11:00
6日・20日(水曜日)	14:00
2日(土曜日)	14:00
第2・4土曜日	10:30

～『ぱる・おかやま』からのお知らせ～

電話受付のご案内【受付時間:10:00～17:00(火～土) ※日・月はお休みです】

固定電話 086-270-3322 **携帯電話** 090-1010-5022 (固定電話につながらない場合)

HPアドレスのご案内 <http://www.eco-asunaro.jp> あすなろブログ更新中!!